

ナチス障害者虐殺知って

下京で講演 「差別、戦争つながらる」

NPO法人医療的ケアで講演した。

アネット(京都市南区)

虐殺は「T4作戦」

のシンポジウムが19日、下京区のキャンパスプラザ京都で開かれた。約100人が参加した。日本障害者協議会(東京都)の藤井克徳代表(66)が、ナチス政権下のドイツであった障害者の虐殺について講演した。差別、戦争つながらる。アネット(京都市南区)のシンポジウムが19日、下京区のキャンパスプラザ京都で開かれた。約100人が参加した。日本障害者協議会(東京都)の藤井克徳代表(66)が、ナチス政権下のドイツであった障害者の虐殺について講演した。

に加担し、犠牲者は占領国もふくめ約30万人ともいわれる。

藤井さんは映像を交えて残虐さを明かし、「作戦の源流はアーリア人の優生思想に基づく断種法にあり、その後、ホロコーストにつながっていった」と指摘。「差別の極限は

戦争につながる。障害者ら弱い立場の人間に、社会のあらゆる問題が集積される」と訴えた。

また、T4作戦があまり知られていないことも指摘し「過去の歴史から学ぶことが大切」と強調した。

(近藤大介)



映像を交え、ナチス政権下での障害者虐殺について説明する藤井さん(京都市下京区・キャンパスプラザ京都)